

三重県薬剤師学術フォーラム 2019

プログラム

日 時：平成31年3月10日（日）9時00分～（受付開始 8時30分）

会 場：鈴鹿医療科学大学白子キャンパス6号館大講義室

主 催：三重県病院薬剤師会 （一社）三重県薬剤師会

司 会：三重県病院薬剤師会学術研修委員会委員長 高井 靖

9：00～9：05

◆ 開会の辞 三重県病院薬剤師会 会長 奥田 真弘

9：05～12：05

◆ 学術研究発表会（第47回三重県病院薬剤師会学術研究発表会）
（発表時間7分、質疑応答2分）

9：05～9：41

座長：中村 昭宣（済生会松阪総合病院）

【1】 後発医薬品による副作用発現時における先発医薬品変更に関する有責性の検討

－ リトドリン塩酸塩注射液使用患者を対象とした解析－

独立行政法人国立病院機構三重中央医療センター薬剤部

○春田 桃歩, 小西 友美, 山本 高範, 市川 和哉, 阿部 康治

【2】 入院患者における不眠時指示薬のエスゾピクロンへの変更が睡眠薬処方へ及ぼす影響

三重大学医学部附属病院薬剤部

○亀川 弥那, 若井 恵理, 水谷 栄梨, 池村 健治, 杉本 浩子, 岩本 卓也,
奥田 真弘

【3】 心臓リハビリテーション患者における薬剤師の関わり～ベンゾジアゼピン系睡眠薬による
転倒が疑われた一例～

医療法人 三重ハートセンター

○前田 雄太郎, 木本 珠美, 松岡 佳子, 伊藤 涼子, 梶間 勇樹, 高井 靖

【4】 医師の負担軽減”に関するアンケート結果

¹三重県病院薬剤師会中小病院委員会, ²白子ウィメンズホスピタル, ³遠山病院薬剤部,
⁴ヨナハ総合病院薬局, ⁵小山田記念温泉病院薬剤部, ⁶津生協病院薬剤部, ⁷大門病院薬剤部
○三谷 宜靖^{1,5}, 武内 恵子^{1,2}, 三宅 嘉昭^{1,3}, 森 美由紀^{1,4}, 瀬尾 知広^{1,6},
堤 ひろみ^{1,7}

9 : 4 1 ~ 1 0 : 1 7

座長：寺田 幸司（メディモ調剤薬局）

【5】 食品に残留する防かび剤一斉分析法の検討

¹三重県保健環境研究所, ²三重県医療保健部ライフイノベーション課, ³三重県桑名保健所
○竹内 浩¹、清水 美緒²、佐藤 誠³、林 克弘¹、吉村 英基¹、松村 義晴¹

【6】 モバイルファーマシーの活用について

一般社団法人三重県薬剤師会

○小林 竜也、大野 真之、林 広成、神戸 保幸、高村 靖、増田 直樹、西井 政彦

【7】 伊賀地区での褥瘡研修会『薬局薬剤師の抱える問題点と今後の展望』

伊賀薬剤師会、¹赤井薬局鴻之台店、²赤井薬局中央店

○濃野 伸子¹、赤井 一彦²

【8】 健康指導と健康サポート薬局

平岡回生堂薬局

○平岡 伸五

1 0 : 1 7 ~ 1 0 : 5 3

座長：小出 哲朗（桑名市総合医療センター）

【9】 当院における抗がん剤調製業務の取り組み～アイソレーターと注射薬混注監査システムを導入して～

鈴鹿中央総合病院 薬剤部

○松浦史佳, 高橋智洋, 藤田征志, 森章哉, 河村雅人

【10】 当院でのパニツムマブ治療終了後の血清 Mg 値測定実施状況

済生会松阪総合病院薬剤部

○喜多 聖, 佐久間 隆幸, 中村 昭宣

【11】 がん化学療法における HBV スクリーニング実施に対する薬剤師の関与

JCHO 四日市羽津医療センター薬剤科

○脇 由香里, 江原 亜沙子, 秦 光平, 山下 貴史, 藤戸 淳夫, 相松 伸哉,
野田 晋司, 片山 歳也, 松田 浩明

【12】 外来がん化学療法における薬剤師の介入効果の検討

鈴鹿中央総合病院薬剤部

○高橋智洋, 藤田征志, 河村雅人

10:53~11:29

座長: 神保 泰志 (太陽薬局)

【13】 地元から離れた病院との薬薬連携の取り組み~薬剤管理サマリーによる継続した服薬支援

¹あおぞら薬局、²三重ハートセンター

○清川 健治¹、前田 雄太郎²、梶間 勇樹²、高井 靖²、清川 治¹、川上 奈津紀¹

【14】 薬薬連携による褥瘡対応のスキルアップ研修について 第2報 (追跡調査)

¹三重県薬剤師会、²三重県病院薬剤師会

○田中 亜弥¹、二村 昭彦²、森川 拓²、梅山 靖基²、山内 貴子²、浜野 友貴²
相松 定子¹、西井 貴由記¹、山岸 潔子¹

【15】 三重県下における薬薬連携の現状について~病院・診療所対象アンケート調査より~

(一社) 三重県薬剤師会 薬局機能推進委員会

○辻 由紀子、薬局機能推進委員会委員

【16】 三重県下における薬薬連携の現状について~保険薬局対象アンケート調査より~

(一社) 三重県薬剤師会 薬局機能推進委員会

○辻 由紀子、薬局機能推進委員会委員

11:29~12:14

座長: 福森 和俊 (上野総合市民病院)

【17】 PDCA サイクルを用いた TDM 業務の改善と今後の課題

伊勢赤十字病院 薬剤部

○酌井 敏伸, 淵田 悠一郎, 服部 公紀, 野口 祥紀, 三宅 知宏, 谷村 学

【18】 当院での抗菌薬適正使用支援への取り組みによる広域抗菌薬使用状況の変化に関する研究

済生会松阪総合病院薬剤部

○波多 孝次朗, 佐久間 隆幸, 内藤 潤, 中村 昭宣

【19】 当院におけるプレアボイド報告に対する取り組み

鈴鹿回生病院 薬剤管理課

○山川 恵子, 川口 奈緒美, 片桐 左希子, 杉本 恵理, 尾内 陽香, 柘植 麻里奈,
青 孝明, 木村 匡男

【20】 前立腺癌男性におけるゴセレリン投与後の総コレステロール値に影響を及ぼす要因

¹ 桑名市総合医療センター薬剤部, ² 桑名市総合医療センター糖尿病内科, ³ 桑名市総合医療センター泌尿器科

○桐生浩子¹, 池口麻由子¹, 有松冴¹, 不破朱里¹, 原美由紀¹, 加藤義章¹, 近藤加奈子¹, 橋本陽¹, 今西義紀¹, 小出哲朗¹, 堀田康広², 木瀬英明³, 伊藤久美子¹

【21】 少量トルバプタン開始後に高ナトリウム血症を来した1例

医療法人 三重ハートセンター

○梶間 勇樹, 前田 雄太郎, 木本 珠美, 松岡 佳子, 伊藤 涼子, 高井 靖

12:30~13:30

◆ ランチョンセミナー 共催 あゆみ製薬(株)

座長: 武内 恵子(三重県病院薬剤師会副会長)

「Skill Mix 型チーム医療による術後回復促進策

—術後疼痛管理の主役は薬剤師と アセトアミノフェン—

谷口 英喜(済生会横浜市東部病院 周術期支援センター)

13:45～16:45

◆ シンポジウム（平成30年度薬業シンポジウム）

テーマ 「地域包括ケア時代の薬学的管理を支える医薬品情報」

座長 奥田 真弘（三重大学医学部附属病院薬剤部）

【基調講演】

「地域包括ケア時代における薬剤師の役割

～やりたいことから、求められることを意識して～」

荒木 隆一（市立敦賀病院 薬剤部長）

座長 藤本 修嗣（あさひ調剤薬局）

【シンポジスト1】

「地域包括ケア時代を見据えた当院での取り組み」

栗野 萌（鈴鹿回生病院）

【シンポジスト2】

「医薬品情報を活用した抗癌剤における薬業連携の模索」

加藤 文啓先生（さんあい薬局 京橋店・在宅支援センター）

【シンポジスト3】

「薬局薬剤師と医薬品情報

トリフルリジン・チピラシル塩酸塩配合錠の用法変更となった一例」

若松 律子先生（なの花薬局 小俣本町店）

【シンポジスト4】

「地域包括ケア病棟における高齢者の薬物療法適正化を目指した取り組み」

相松 伸哉先生（四日市羽津医療センター）

【パネルディスカッション】

16:45～16:55

◆ 優秀演題表彰式

16:55～17:00

◆ 閉会の辞 三重県薬剤師会 会長 西井 政彦